



丑年生まれの人

昭和60年の年男、年女は推計で1,006万人(総人口に占める割合8.4%)で、男494万人に対し、女は18万人多い512万人となっている。

丑年生まれの人を年齢別にみると、第1次ベビーブーム期に当たる昭和24年生まれが242万人で最も多く、以下、第2次ベビーブーム期の昭和48年生まれの207万人、昭和12年生まれ174万人、昭和36年生まれ156万人と続いている。

また、昭和60年に還暦を迎える大正14年生まれは128万人

となっている。

総人口を十二支別にみると、昭和59年の出生児数が新たに加わった子年の1,124万人が最も多い。これに続いて2位は亥年(1,108万人)、3位以下は丑年・申年(各1,006万人)、戌年・未年(各1,003万人)、巳年(989万人)、辰年(977万人)、寅年(968万人)、酉年(964万人)、卯年(953万人)となっており、午年が936万人と最も少ない。

午年の人口が少ないのは、昭和41年及び明治39年の「丙午」の年の出生児数が、特に少なかったためである。

表一 丑年生まれの人 (推計)

(昭和60年1月1日現在)

生まれた年	年 齢 [*]	男女計		男		女	
		万人	%	万人	%	万人	%
総 数		1,006	100.0	494	100.0	512	100.0
昭和48年	12 歳	207	20.6	106	21.5	101	19.7
〃 36 〃	24 歳	156	15.5	79	16.0	77	15.0
〃 24 〃	36 歳	242	24.1	121	24.5	121	23.6
〃 12 〃	48 歳	174	17.3	86	17.4	88	17.2
大正14年	60 歳	128	12.7	60	12.1	68	13.3
〃 2 〃	72 歳	73	7.3	31	6.3	42	8.2
明治34年	84 歳	24	2.4	9	1.8	15	2.9
〃 22年以前	96 歳以上	1	0.1	0	0.0	1	0.2

* 誕生日を迎えた時の年齢

表二 十二支別人口とその順位

十二支別	人 口	総人口に占める割合	人口順位
子 (ね)	1,124	9.3	1
丑 (うし)	1,006	8.4	3
寅 (とら)	968	8.0	9
卯 (う)	953	7.9	11
辰 (たつ)	977	8.1	8
巳 (み)	989	8.2	7
午 (うま)	936	7.8	12
未 (ひつじ)	1,003	8.3	6
申 (さる)	1,006	8.4	4
酉 (とり)	964	8.0	10
戌 (いぬ)	1,003	8.3	5
亥 (い)	1,108	9.2	2

丑年の主な出来事

- 明治10年 西南戦争
コレラ流行のため東京神田に下水道を建設
- 明治22年 大日本帝国憲法発布
大阪、神戸で自転車流行
- 明治34年 天皇陛下誕生
- 大正2年 東北・北海道地方大凶作
- 大正14年 衆議院議員選挙法改正 (普通選挙法)

東京6大学リーグ開始

- 昭和12年 文化勲章制定
ヘレン・ケラー、日本各地で講演
- 昭和24年 初の〈成人の日〉
満年齢で数える法律公布
湯川秀樹博士、ノーベル物理学賞を受賞
- 昭和36年 〈上を向いて歩こう〉流行
- 昭和48年 第1次石油危機、狂乱物価
国民の祝日法改正で「振り替え休日」実施